



PROFILE

Kazutaka Izumi

平成16年10月	総務省採用
平成18年10月	独立行政法人統計センター総務部財務課経理係
平成20年 4月	統計局統計調査部統計課個人企業調査係
平成22年 4月	東京行政評価事務所評価監視調査官
平成23年10月	併任 東京行政評価事務所年金記録確認
平成24年 4月	東京地方第三者委員会事務室調査員
平成26年 4月	人事・恩給局公務員高齢対策課企画第二係長
平成26年 5月	人事・恩給局公務員高齢対策課企画第二係長企画担当主査(政策統括官付統計企画管理官付)
	人事・恩給局交流第一係長
	併任 人事・恩給局交流第二係長
	現職

内閣官房内閣人事局
(交流第一係長 兼 交流第二係長)
泉 一崇



PROFILE

Mari Watanabe

平成15年4月	総務省採用
平成16年4月	関東管区行政評価局
平成18年4月	栃木行政評価事務所評価監視官付
平成20年8月	行政評価局評価監視官付
平成22年4月	政策統括官付統計企画管理官付
平成24年4月	統計審査担当主査 (政策統括官付統計審査官付)
平成26年4月	大臣官房秘書課主査
	現職

会計検査院
(第4局農林水産検査第2課調査官)
渡辺 真理

内閣官房内閣人事局に出向中

仕事内容

国家公務員の人事行政

内閣官房内閣人事局は、これまで総務省や人事院が担ってきた国家公務員の人事行政等の業務を集約させ、平成26年5月に発足した組織です。

国家公務員の人事行政には多くの制度があり、そのうちの官民人事交流制度・国家公務員の派遣等に関する制度を担当しています。

官民人事交流制度とは、国家公務員に民間企業の実務を経験させ、行政運営の重要な役割を担うに相応しい人材を育成するなどをして、公務の能率的な運営に資することを目的とするものです。

昨年は、官民人事交流法が改正されたことに伴い、官民人事交流に関する基本方針の見直し・改正を始め、関係団体等への改正の趣旨説明や制度を紹介するパンフレットのリニューアルなどを行いました。

また、国家公務員の派遣等に関しては、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会に国家公務員を派遣させるため、平成32年東京オリンピック・パラリンピック競技大会特別措置法案の作成に参加しています。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

総務省の魅力

官庁訪問で総務省を訪れたのは10年以上前になります。

これまでに、独立行政法人統計センターの予算・会計→個人企業経済調査の実施→年金問題への対応→天下り問題への対応→統計法施行状況の報告書をまとめることなどを経験してきました。

いろいろな行政分野の仕事に携わることができる官庁であること。

これが総務省の魅力の一つだと思います。

総務省は、平成13年の中央省庁再編によって旧総務省、旧郵政省、旧自治省が統合されてできた官庁です。

このため、総務省は行政管理、地方自治、情報通信、統計等、「国民生活を支える」多くの任務が与えられており、その任務を達成するべく、更に多くの業務が皆さんをお待ちしています。

いろいろな行政分野で仕事をしてみたい方、是非総務省の門を叩いてみてください。



週末は子供と過ごす時間を大切にしています。子供の関心に合わせて、連れて行ったら喜びそうなところへ出かけます。鉄道に夢中になれば博物館を訪れ、戦隊モノに興味があればヒーローに会いに行き握手をさせたり。子供はこんなことが楽しいのかと思っていたら、いつの間にか楽しんでいる自分に驚くことも。

とある一週間

- 月曜日 別の政令の改正に伴い官民人事交流法施行令も改正することに。
- 火曜日 改正するための説明資料等を作成します。
- 水曜日 上司に改正の内容について説明をし、法制局へ審査の登録をします。
- 木曜日 法制局参事官に説明をした結果、宿題をもらいました。
- 金曜日 宿題について関係者と打合せ。クリアできる見通しがつきました。



会計検査院で働いています。

仕事内容

会計経理の面から行政を見る

私は現在会計検査院に出向し、農林水産省農村振興局が所掌する事業を対象とした検査業務に従事しています。

官庁訪問をしている皆さんなら御存知の方も多いと思いますが、会計検査院は内閣から独立した立場で国の会計経理を検査する機関です。会計経理の検査といつても、金銭の出納など狭い範囲に限定されるものではなく、税金が投入され実施された事業についても検査の対象としています。また、違法不当な事態を指摘するのみではなく、問題の発生原因を究明し、改善の処置を要求することもしています。

私が総務省で以前従事していた行政評価局の調査業務と会計検査院の検査業務では、行政機関等に対する現地調査(実地検査)などにおいて問題点を把握・分析するための観点や手法に共通するところがあるため、総務省での経験が現在の会計検査院での検査業務にも役立っています。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

欲張りな方へ

自分が官庁訪問をしていた時に何が決め手になって総務省を選んだかというと、業務の幅広さに魅力を感じたからです。当時、私には絶対にここ!という志望先はありませんでした。たくさんの府省庁の説明会に行き、パンフレットを読むとどこも魅力的見え、ますます決められなくなっていたときに出会ったのが、総務省の行政評価局の業務でした。

総務省は、行政評価、行政管理、統計、情報通信、自治等々の幅広い分野を所管していますが、所管分野が広いだけではなく、行政評価や行政管理の業務では対象が総務省以外の業務にも広がります。これまで私が従事してきた行政評価局調査では、厚生労働省所管の厚生年金保険や介護保険、農林水産省所管の農業災害補償、環境省所管の産業廃棄物対策などの業務を対象とした調査を経験しましたが、それでも政府全体から見るとまだ一部に過ぎません。

あれもこれもという欲張りな方にこそ総務省をおすすめします。



近頃、深夜・早朝発着の航空便が増えているので、それを利用して近場の海外へ行くことが多くなりました。土曜日・日曜日で韓国や台湾、金曜日に休暇を取れば(場合によっては休まなくても深夜発にすることで)マレーシアやシンガポール、香港へも行けますのでいい気分転換になります。写真はこの前行ったマカオです。

とある一週間

- 月曜日 前の週の検査で見つけた事案について報告書を作成します。
- 火曜日 1か月後の検査に向けて大まかな検査箇所を決め、資料の借用を依頼します。
- 水曜日 水曜日は全省庁一斉定時退庁日です。リフレッシュのためにも定時で帰宅の途に。
- 木曜日 これまでの検査結果に基づいて班で今後の方針を検討し、意識合わせをします。
- 金曜日 翌々週の検査に向けて事前に借りた資料に目を通します。準備が大切です。

